

平成25年9月期 決算説明会 (第2四半期)

 OKUMURA CORPORATION

平成25年11月13日開催

決算説明会の内容

- 1 挨拶
代表取締役社長 奥村 太加典
- 2 決算及び業績予想の概要説明
代表取締役専務執行役員
管理本部長 平子 高育
- 3 決算及び業績予想の詳細説明
管理本部経理部長 田中 敦史



挨拶

代表取締役社長 奥村 太加典

 **OKUMURA CORPORATION**

決算及び業績予想の概要説明

代表取締役専務執行役員
管理本部長 平子 高育

 **OKUMURA CORPORATION**

連結決算の概要

(単位：百万円)

	24/9期	25/9期		
	実績	予想	実績	増減
売上高	82,696	91,200	79,055	▲12,145
営業利益	▲1,325	100	▲911	▲1,011
経常利益	1,020	800	178	▲622
四半期純利益	336	650	120	▲530



 OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ **売上高は予想より12,145百万円減少**
 - ⇒ 進行基準適用工事の進行割合が想定を下回り、一部の工事の売上計上が下期にずれ込む

- ・ **営業損益は予想より1,011百万円悪化**
 - ⇒ 売上高の減少等により、売上総利益が1,221百万円減少
 - ⇒ 一般管理費が210百万円減少



 OKUMURA CORPORATION

＜参考＞ 受注高（個別）

（単位：百万円）

	24/9期	25/9期		
	実績	予想	実績	前期比
土 木	28,760	28,500	36,385	26.5%
官公庁	23,916	21,500	32,353	35.3%
(うち海外)	(230)		(81)	(▲64.9%)
民 間	4,844	7,000	4,031	▲16.8%
(うち海外)	(-)		(-)	(-%)
建 築	53,702	50,000	76,649	42.7%
官公庁	23,533	20,000	23,874	1.4%
(うち海外)	(-)		(-)	(-%)
民 間	30,168	30,000	52,775	74.9%
(うち海外)	(1,484)		(-)	(-%)
合 計	82,462	78,500	113,034	37.1%
(うち海外)	(1,715)		(81)	(▲95.3%)



《主なポイント》

- ・ **土木は前年同期より26.5%増加**
⇒ 前期に契約した葛尾村除染工事について、受注を増額
- ・ **建築は前年同期より42.7%増加**
⇒ 民間工事で、消費税の税率アップの経過措置適用を受けるため、契約を下期以降から上期に前倒したと考えられる案件により受注の上積みがあった



連結業績予想の概要

(単位：百万円)

	25/3期	26/3期		
	実績	前回	今回	前期比
売上高	196,554	182,400	189,400	▲3.6%
営業利益	1,339	1,200	1,200	▲10.4%
経常利益	3,563	1,900	2,300	▲35.5%
当期純利益	2,683	1,600	2,000	▲25.5%



OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

・売上高は前回予想より70億円増加

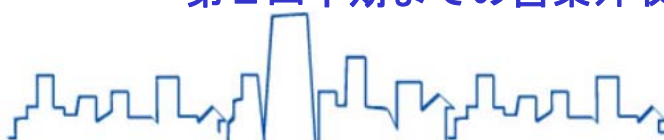
	前回予想	今回予想	増減
建設事業	1,730億円	1,800億円	+70億円
不動産事業等	94億円	94億円	—

・営業利益は前回予想と同額

	前回予想	今回予想	増減
売上総利益	149億円	149億円	—
完成工事総利益	115億円	115億円	—
不動産事業等総利益	34億円	34億円	—
一般管理費	137億円	137億円	—

・経常利益及び当期純利益は前回予想より4億円増加

第2四半期までの営業外収支の実績を反映



OKUMURA CORPORATION

<参考> 受注高予想（個別）

（単位：百万円）

	25/3期	26/3期		
	実績	前回	今回	前期比
土 木	69,074	64,000	64,000	▲7.3%
官公庁	61,677	49,000	52,000	▲15.7%
民間	7,397	15,000	12,000	62.2%
建 築	104,947	120,000	120,000	14.3%
官公庁	40,456	35,000	35,000	▲13.5%
民間	64,490	85,000	85,000	31.8%
合 計	174,021	184,000	184,000	5.7%



 OKUMURA CORPORATION



 OKUMURA CORPORATION

決算及び業績予想の詳細説明

管理本部経理部長 田中 敦史

 OKUMURA CORPORATION

平成25年9月期 決算説明会

連結決算の詳細

- ◇ 連結貸借対照表
 - ・ 資産、負債、純資産
 - ・ 個別貸借対照表との比較
- ◆ 連結損益計算書
 - ・ 売上高、売上総利益、一般管理費、営業外収支
特別損益、営業利益、経常利益、四半期純利益
 - ・ 個別損益計算書との比較
- ◇ 連結キャッシュ・フロー計算書



 OKUMURA CORPORATION

◇連結貸借対照表

(単位：百万円)

	25/3期	25/9期	増減		25/3期	25/9期	増減
	実績	実績			実績	実績	
流動資産	141,696	129,836	▲11,859	流動負債	95,423	86,869	▲8,553
現金預金	13,448	32,576	19,127	支手・工事未払等	47,488	42,166	▲5,322
受手・完工未収等	98,240	68,762	▲29,477	短期借入金	16,416	7,982	▲8,433
有価証券	15,000	8,499	▲6,500	工事損失引当金	1,856	1,474	▲381
固定資産	92,337	102,770	10,432	固定負債	16,686	19,915	3,228
有形固定資産	35,839	37,824	1,984	長期借入金	4,128	5,216	1,087
無形固定資産	284	255	▲28	負債合計	112,110	106,785	▲5,325
投資その他の資産	56,213	64,690	8,476	純資産	121,923	125,821	3,898
投資有価証券	55,591	63,933	8,342	その他有価証券評価差額金	18,987	24,574	5,587
資産合計	234,033	232,606	▲1,426	負債純資産合計	234,033	232,606	▲1,426



《主な増減理由》

『有形固定資産』

- ・ 賃貸不動産に約22億円を設備投資したこと等による増加

『投資有価証券』

- ・ 前期末より含み益が増加 8,327百万円
(前期末27,401百万円⇒35,729百万円)

『短期借入金』 『長期借入金』

- ・ 前期末に借入れした80億円を4月に返済
- ・ 9月に短期借入金から長期借入金へ11億円を振替
- ・ 営業政策上の短期借入れの増加等



《個別貸借対照表との比較》

(単位：百万円)

	25/9期		差額		25/9期		差額
	連結	個別			連結	個別	
流動資産	129,836 (141,696)	128,634 (140,272)	1,202 (1,423)	流動負債	86,869 (95,423)	85,122 (94,020)	1,747 (1,403)
固定資産	102,770 (92,337)	99,971 (89,850)	2,799 (2,487)	固定負債	19,915 (16,686)	19,852 (16,628)	62 (58)
有形固定資産	37,824 (35,839)	31,662 (30,169)	6,161 (5,670)	負債合計	106,785 (112,110)	104,975 (110,648)	1,809 (1,461)
無形固定資産	255 (284)	254 (283)	1 (1)				
投資その他の資産	64,690 (56,213)	68,054 (59,397)	▲3,363 (▲3,184)	純資産	125,821 (121,923)	123,630 (119,474)	2,191 (2,449)
資産合計	232,606 (234,033)	228,605 (230,123)	4,001 (3,910)	負債純資産 合計	232,606 (234,033)	228,605 (230,123)	4,001 (3,910)

※ ()内は25/3期の数値を表示している。



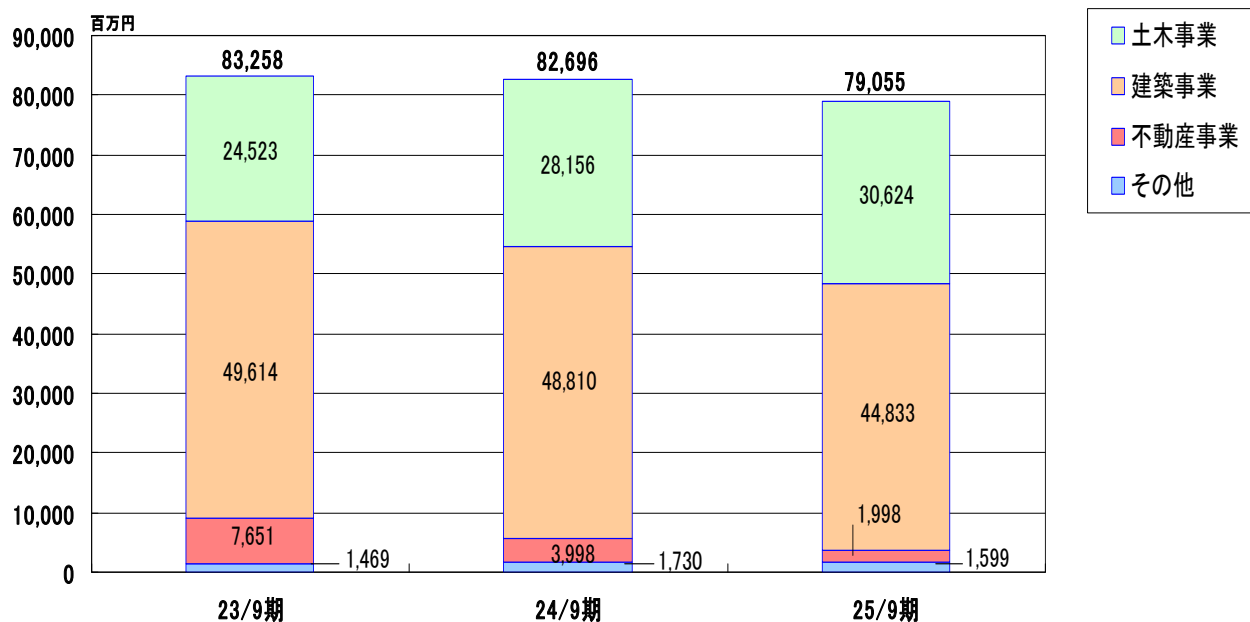
『連結子会社の個別の財政状況』

	奥村機械製作	太平不動産
・ 資産合計	3,278百万円	6,087百万円
・ 純資産	1,978百万円	500百万円



◆連結損益計算書

～売上高～



《売上高の主なポイント》

不動産事業等

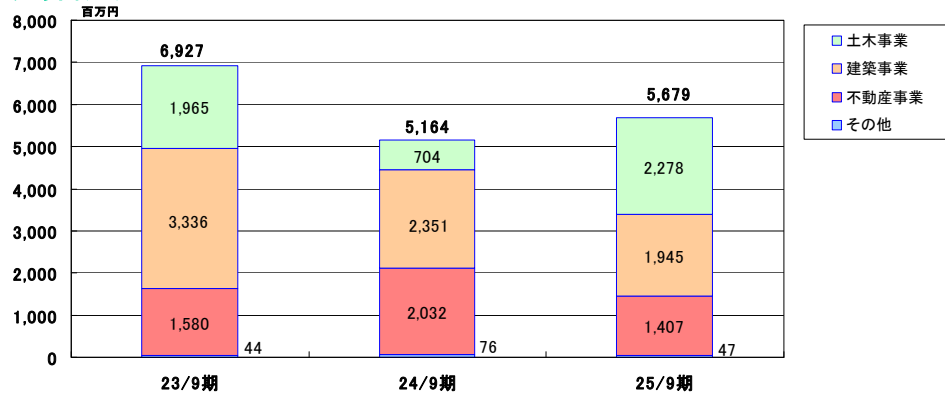
・売上高内訳

	24/9期	25/9期	増減
販売	2,235百万円	114百万円	▲2,120百万円
賃貸他	1,763百万円	1,883百万円	▲119百万円
小計	3,998百万円	1,998百万円	▲2,000百万円
その他	1,730百万円	1,599百万円	▲131百万円
計	5,729百万円	3,597百万円	▲2,131百万円

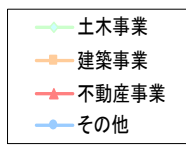


～売上総利益～

《売上総利益額》



《売上総利益率》



《不動産事業等》 (単位: 百万円)

	24/9	25/9	増減
販売	680 (30.4%)	23 (20.2%)	▲656
賃貸他	1,352 (76.7%)	1,384 (73.5%)	31
不動産計	2,032 (50.8%)	1,407 (70.4%)	▲625
その他	76 (4.4%)	47 (3.0%)	▲28
合計	2,108 (36.8%)	1,455 (40.5%)	▲653



《売上総利益の主なポイント》

建設事業

- ・ 土木は、前年同期に特定の大型工事で多額の損失を見込み、利益率が低迷したが、当四半期は比較的高採算の工事を売上計上しており、利益率が大きく改善している
- ・ 建築は、前期まで工事損益が悪化していた首都圏の工事に改善の兆しがみられるものの、前期に比較的高採算を維持していた西日本の工事が外注労務費の上昇等により採算が低下し、前年同期より利益率が落ち込んでいる

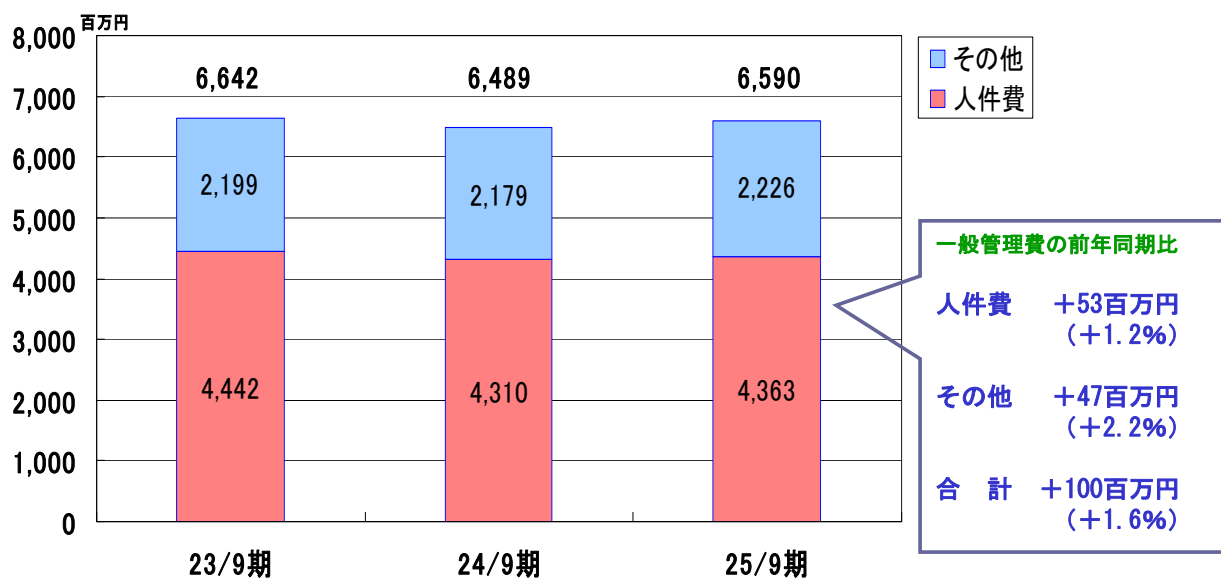
・ 工事損失引当金

土木 ⇒ 27百万円減少 (835百万円 ⇒ 807百万円)
 工事完成によるもの ▲308百万円
 引当不足によるもの +281百万円
 建築 ⇒ 354百万円減少 (1,020百万円 ⇒ 666百万円)
 工事完成によるもの ▲420百万円
 引当不足によるもの +66百万円



平成25年9月期 決算説明会

～一般管理費～



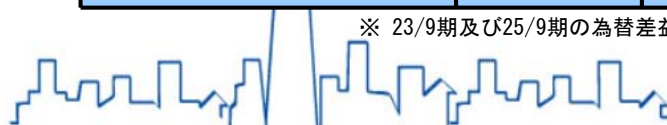
平成25年9月期 決算説明会

～営業外収支～

(単位：百万円)

	23/9期	24/9期	25/9期	
	実績	実績	実績	増減
営業外収益	1,018	2,660	1,184	▲1,476
受取利息配当金	583	714	567	▲147
貸倒引当金戻入額	153	1,695	344	▲1,350
為替差益	49	—	183	183
営業外費用	101	314	94	▲220
支払利息	88	86	87	0
為替差損	—	213	—	▲213
営業外収支	917	2,346	1,089	▲1,256
金融収支	494	627	479	▲147

※ 23/9期及び25/9期の為替差益は、連結損益計算書の営業外収益その他に含まれている。



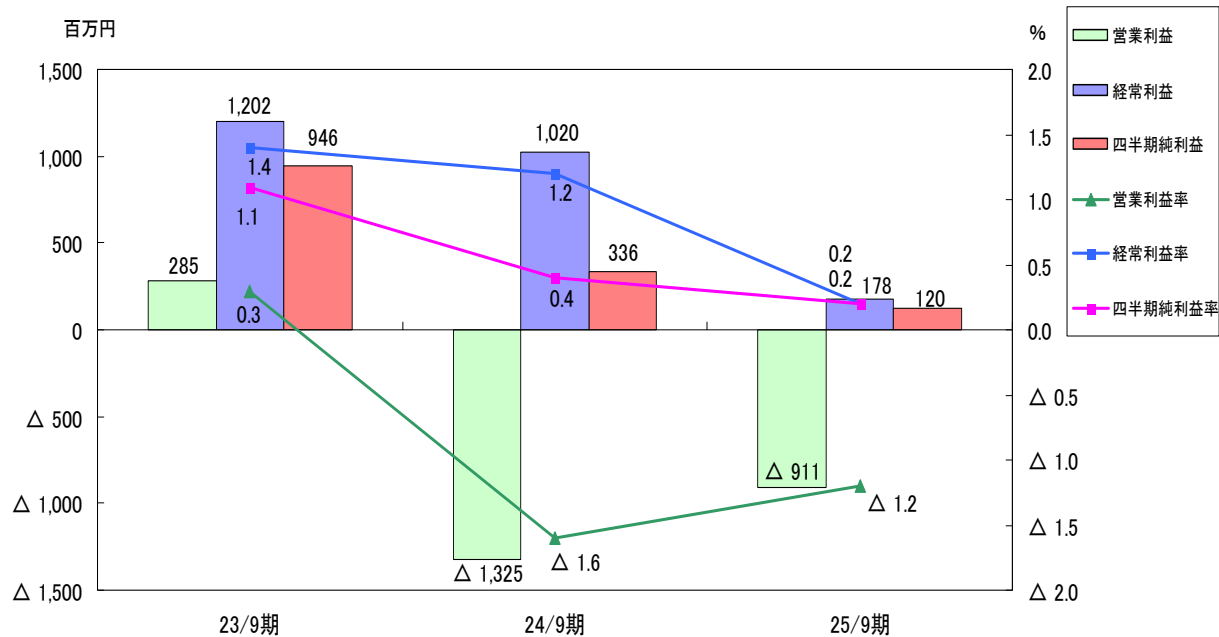
～特別損益～

(単位：百万円)

	23/9期	24/9期	25/9期	
	実績	実績	実績	増減
特別利益	7	0	0	0
固定資産売却益	7	0	0	0
特別損失	210	590	0	▲589
固定資産除却損	11	0	0	0
投資有価証券評価損	198	485	—	▲485
関係会社株式評価損	—	103	—	▲103
特別損益	▲203	▲590	▲0	589



～営業利益、経常利益及び四半期純利益～



《個別損益計算書
との比較》

	25/9期				
	連結		個別		差額
売上高	79,055	100%	78,325	100%	730
建設事業	75,457		75,948		▲490
不動産事業等	3,597		2,376		1,221
売上総利益	5,679	7.2%	5,537	7.1%	141
建設事業	4,223	5.6%	4,219	5.6%	3
不動産事業等	1,455	40.5%	1,317	55.4%	137
一般管理費	6,590	8.4%	6,395	8.2%	195
営業利益	▲911	▲1.2%	▲857	▲1.1%	▲53
営業外収益	1,184	1.5%	1,395	1.8%	▲211
営業外費用	94	0.1%	94	0.1%	—
経常利益	178	0.2%	443	0.6%	▲265
特別利益	0	0.0%	—	—%	0
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0
税金等調整前四半期純利益	177	0.2%	442	0.6%	▲265
法人税等	57	0.0%	50	0.1%	6
四半期純利益	120	0.2%	392	0.5%	▲272

OKUMURA CORPORATION

『連結子会社の個別の概況』

	奥村機械製作	太平不動産
・売上高	1,261百万円	220百万円
・営業利益	▲152百万円	93百万円
・経常利益	▲130百万円	53百万円
・四半期純利益	▲130百万円	47百万円

OKUMURA CORPORATION

◇連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	23/9期	24/9期	25/9期	
	実績	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,612	14,486	24,210	9,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲15,845	▲6,408	▲10,500	▲4,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,839	3,772	▲9,163	▲12,935
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲58	▲12	34	46
増減額	▲6,130	11,837	4,581	▲7,256
現金及び現金同等物の期首残高	34,720	24,520	28,343	3,823
現金及び現金同等物の 四半期末残高	28,590	36,358	32,924	▲3,433



連結業績予想の詳細

◇26/3期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	25/3期		26/3期			
	実績		今回	増減	前回	
売上高	196,554	100%	189,400	100%	▲7,154	182,400
土木	72,927		70,000		▲2,927	67,000
建築	111,841		110,000		▲1,841	106,000
建設事業計	184,768		180,000		▲4,768	173,000
不動産事業等	11,785		9,400		▲2,385	9,400
売上総利益	14,840	7.6%	14,900	7.9%	60	14,900
土木	5,838	8.0%	6,500	9.3%	662	5,700
建築	4,364	3.9%	5,000	4.5%	636	5,800
建設事業計	10,202	5.5%	11,500	6.4%	1,298	11,500
不動産事業等	4,637	39.4%	3,400	36.2%	▲1,237	3,400
一般管理費	13,500	6.9%	13,700	7.3%	200	13,700
営業利益	1,339	0.7%	1,200	0.6%	▲139	1,200

＜不動産事業等＞

[]は前回予想

		(単位：百万円)	
	売上高	売上総利益	
販売	880	290	(33.0%)
	[880]	[290]	[33.0%]
賃貸他	3,820	2,740	(71.7%)
	[3,820]	[2,740]	[71.7%]
計	4,700	3,030	(64.5%)
	[4,700]	[3,030]	[64.5%]
その他	4,700	370	(7.9%)
	[4,700]	[370]	[7.9%]
計	9,400	3,400	(36.2%)
	[9,400]	[3,400]	[36.2%]



＜26/3期 連結損益計算書続き＞

(単位：百万円)

	25/3期		26/3期			
	実績		今回	増減	前回	
営業外収益	2,473	1.2%	1,300	0.7%	▲1,173	1,000
営業外費用	249	0.1%	200	0.1%	▲49	300
経常利益	3,563	1.8%	2,300	1.2%	▲1,263	1,900
特別利益	7	0.0%	0	0.0%	▲7	—
特別損失	734	0.4%	200	0.1%	▲534	200
税金等調整前 当期純利益	2,836	1.4%	2,100	1.1%	▲736	1,700
法人税等	152	0.0%	100	0.0%	▲52	100
当期純利益	2,683	1.4%	2,000	1.1%	▲683	1,600

＜営業外収益＞

(単位：百万円)

	25/3	26/3
負ののれん償却額	283	—
貸倒引当金戻入額	521	—
為替差益	393	—

＜特別損失＞

固定資産除却損を200百万円見込む



《個別業績予想
との比較》

	26/3期				
	連結		個別		差額
売上高	189,400	100%	185,400	100%	4,000
建設事業	180,000		180,000		—
不動産事業等	9,400		5,400		4,000
売上総利益	14,900	7.9%	14,300	7.7%	600
建設事業	11,500	6.4%	11,500	6.4%	—
不動産事業等	3,400	36.2%	2,800	51.9%	600
一般管理費	13,700	7.3%	13,300	7.2%	400
営業利益	1,200	0.6%	1,000	0.5%	200
営業外収益	1,300	0.7%	1,500	0.8%	▲200
営業外費用	200	0.1%	200	0.1%	—
経常利益	2,300	1.2%	2,300	1.2%	—
特別利益	0	0.0%	—	—%	0
特別損失	200	0.1%	200	0.1%	—
税金等調整前当期純利益	2,100	1.1%	2,100	1.1%	—
法人税等	100	0.0%	100	0.0%	—
当期純利益	2,000	1.1%	2,000	1.1%	—


OKUMURA CORPORATION

平成25年9月期 決算説明会

～ END ～



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。